

## 令和4年 第13回ダイバーシティ推進ランチョンセミナーを終えて

2022年9月15日～19日、日本植物学会第86回大会(京都大会)がハイブリッドで開催されました。ダイバーシティ推進セミナーは「SNSの活用」をテーマとして19日(日)に行われました。セミナーはハイブリッド形式としました。

セミナーでははじめに寺島一郎学会会長(東京大学大学院理学研究科・教授)からご挨拶をいただきました。寺島氏自身はSNSをあまり活用していませんが、自分の出した論文についてSNSで言及されているのを見かけて感動したという話をされ、SNSの可能性に期待をもたれていました。続いて成川礼ダイバーシティ推進委員会委員長(東京都立大学理学研究科・准教授)からは、本年度「SNAの活用」を取り上げた経緯について紹介がありました。当初、今後取り上げてほしい内容の上位常連である「ハラスメント」をテーマとしようとしたが、テーマを決める議論の中で、オンラインやSNSがハラスメントやその告発などの現場となっていることに思い至り、SNSとダイバーシティという観点でセミナーができないかとなりました。コロナ禍の状況でSNSを介したコミュニケーションの重要性も増したと考えられる中で、SNS活用のメリットやデメリットを整理し議論をすることが、日本植物学会のダイバーシティを促進する一助になると考えたという経緯が説明されました。

続いて池田陽子氏(岡山大学資源植物科学研究所・准教授)及び土松隆志氏(東京大学大学院理学研究科・准教授)の司会のもと、講演とパネルディスカッションが進行しました。講演では、東京大学の横山広美先生(東京大学国際高等研究所・教授)から「研究者とSNS」をご発表いただきました。研究者としてどうSNSを活用していくかについて、ご自身の体験も踏まえつつ、出版されている文献も紹介しつつ、多様な側面から話題を提供いただきました。特に、学会などの単位で推薦された研究者集団による「グループボイス」として発信するという提案は、学会として非常に参考になるものでした。

パネルディスカッションでは横山広美氏、成川礼氏、稲田のりこ氏(大阪公立大学大学院農学研究科・教授)、小林康一氏(大阪公立大学大学院理学研究科・准教授)、宮本通氏(東京大学大学院理学研究科・大学院生)にパネリストとしてご登壇いただきました。学生から教員まで幅広い方に登壇いただき、SNSとしてTwitterを主に使用している方が多い中、YouTubeをチームで利用されている方(宮本氏)にもご登壇いただきました。また、稲田氏は日本植物学会の公式Twitterの「中の人」であるため、主にその立場からの見解をいただきました。



オンサイト会場の様子

3年ぶりのオンサイト開催ということで、多くの方にご来場いただきました

現在において、研究者が全くSNSを活用せずにいるのは難しいといえます。そのような状況で、どのようにSNSと向き合うかはますます大事になっていきます。パネルディスカッションの中で、SNSのメリット・デメリット、「受信側」と「発信側」のどちらの立ち位置にいるか、研究内容について発信する際の注意点なども議論になりました。今回のセミナーが、会員の皆さまが今後SNS

第13回 日本植物学会ダイバーシティ推進セミナー

### SNSの光と影

-植物科学研究における活用を考える-

9/18 (日)  
12:30 - 13:25  
D会場



講師：横山 広美  
(東京大学・教授)

SNSは研究室になくてはならないものになりつつある。研究の裾野拡大などダイバーシティ推進に貢献するかもしれない一方で「オンラインハラスメント」などの問題も指摘されており、その光と影の両面を理解しつつ、研究者それぞれがSNSの活用について考えてみる機会は重要だろう。本セミナーでは、科学技術社会論が専門の横山広美先生にご講演いただいた。横山先生を文えた植物学会関係者によるパネルディスカッションを通じて、ダイバーシティ推進におけるSNSの役割について議論したい。

【セミナープログラム】

1. 日本植物学会会長挨拶 寺島 一郎 (東大)
2. 「本テーマを取り上げた経緯」 成川 礼 (都立大)
3. 講演「研究者とSNS」 横山 広美 (東大)
4. パネルディスカッション

【パネリスト】

- 横山 広美「科学技術社会論研究者」(東大)
- 小林 康一「研究へのSNS活用者」(大阪公立大)
- 宮本 通「ゆるふわ生物学者」(東大)
- 稲田 のりこ「植物学会Twitter担当」(大阪公立大)
- 成川 礼「生物界隈人気Twitterer」(都立大)

【司会】 池田 陽子 (岡山大)・土松 隆志 (東大)

日本植物学会第86回大会に参加登録された方はどなたでも本セミナーに自由に参加できます。



日本植物学会第86回大会に参加登録された方はどなたでも本セミナーに自由に参加できます。



と向き合っていく上で、参考となれば幸いです。

本年度セミナーで初めてSNSをとりあげました。委員の中には、SNSをあまり活用していない方もいる中で、実際に積極的に活用している委員の方の意見を取り入れることで、本セミナーの開催に至ることができました。なかでも、司会の池田氏・土松氏が事前に調査を重ねることで、横山先生の執筆された文献を見つけ、講演を依頼することができました。そして、横山先生にも協力いただき、セミナーの構成について議論を重ねたことで、今回の充実したセミナーが構成できたと考えています。パネリストの方々にも、世代、利用しているツール、利用者としての立ち位置の多様性を考慮してお願いいたしました。皆様には打診後すぐにご快諾いただき、誠にありがとうございました。セミナー後アンケートの自由記載欄には多くの意見を頂戴し、反響の大きさを感じました(アンケート結果は別リンクで紹介しています)。

学会運営委員の方々、大会委員の方々、そして寺島学会会長にも大変お世話になりました。特に、直前でハイブリッド形式となったにもかかわらず、素晴らしい大会を運営いただいた大会委員の方々には本当に苦労されたと思います。深く感謝申し上げます。

ダイバーシティ推進委員会委員長:成川礼